

平成28年度の まちづくり

第1回市議会定例会で、青山市長が今年度の市政方針を説明しました。その概要と事業予算についてお知らせします。

平成28年度予算および平成27年度に補正予算として計上し、一体的に取り組んでいく主な施策を掲載しています。

経済情勢や国の政策が刻々と変化し、人口減少という困難も立ちはだかっています。この様な時だからこそ、ひるむことなく、自らの行動力で活路を開いてまいりたいと考えております。

市長公約である
7つの戦略と人口減少抑制に向けた総合戦略の着実な推進を市政運営の基本に位置付け、誰もが室蘭の元気を感ぜられるよう、持てる力のすべてを注ぎ、取り組みを進めてまいります。



7つの戦略

1 子育て支援のブランド化

■女性のための復職・起業支援事業

女性が対象の起業講座やパソコン講座などを開催し、子育て世代の復職・起業をサポートします。

予算 169万円 (3月補正予算)

■ひとり親世帯などへの支援

幼稚園または保育所に通っている多子世帯・ひとり親世帯に対し、保育料の軽減を行います。

予算 924万円 (就園奨励費)
(歳入) -3,465万円 (保育料)

■まち全体で子育てを応援

子育て支援に取り組む企業や団体に対し「子育て応援団」への参加促進を継続し、地域全体で子育てを応援する意識の向上を図ります。

予算 71万円

■女性向けの職場改善魅力アップ支援事業

ものづくり現場などに女子トイレや託児スペースを増設するなど、女性が安心して働ける職場環境に対し、支援を行います。

予算 600万円 (3月補正予算)

■だんパラ公園に新たな遊具を設置

だんパラ公園に大型複合遊具を設置し、児童の遊び場や親子の交流の場としての魅力を創出します。



予算 2,000万円

■スクール児童館専用送迎バスなどの運行

広域校区となった統合小学校の児童が、土曜日・長期休業期間もスクール児童館を利用できるよう送迎バスなどを運行します。

予算 403万円

■特定不妊治療の支援対象を男性にも拡充

不妊治療を行う夫婦の経済負担の軽減を図るため、治療の支援対象を男性にも拡充します。

予算 235万円

■ピロリ菌検査の対象を中学生にも拡充

胃がんの原因となるピロリ菌の早期発見・除菌のための検査などについて、対象を中学生にも拡充します。

予算 408万円

■教育環境の整備

平成30年開校予定の白蘭小学校(陣屋・本室蘭・白鳥台統合校)、平成32年開校予定の高砂・水元統合小学校の整備を進めます。

予算 7億5,021万円 (白蘭)
2,490万円 (高砂・水元)

2

お年寄りや障がい者が元気に暮らせる環境づくり

認知症対策の充実

■認知症初期集中支援チームの設置

看護師や社会福祉士などによる個別訪問や、専門医との連携による受診勧奨など、認知症の早期発見・対応のための体制を整備します。

予算 1,000万円

■認知症地域支援推進員の配置

市内の2カ所の地域包括支援センターに、医療機関や介護サービス事業者等との連携支援などを行う、認知症地域支援推進員を配置します。

予算 800万円

■認知症カフェの増設

専門家への相談や、認知症の人と家族が気軽に集える「認知症カフェ」を新たに東町に設置し、地域の人との触れ合いの場を提供します。

予算 93万円

■手話への理解・普及に向けた取り組み

手話通訳者養成講座受講費を助成するなど、手話の普及啓発や手話奉仕員の安定した確保を図ります。

予算 376万円



手話講座

■生活困窮者への自立支援

自立相談支援事業など従来の支援のほか、求職活動が困難な人に対し、一般就労に向けた準備を行うための支援を実施します。

予算 941万円

■火葬場の改築に向けた検討

神代火葬場の老朽化対策として、新たな施設整備に向けた基本計画を策定します。

■共同墓の検討

埋葬の多様化に対応した「共同墓」の整備に向けて、各関係団体との協議や市民意見などを踏まえ、基本計画を策定します。

市民パワーを活かしたまちづくり

3

■まちづくり活動に対する支援拡充

地域の活性化や課題解決など、市民の自主的な活動を支援する「地域enづくり事業」や「スタートアップ事業」の制度を拡充します。

予算 300万円

■住民自治組織報奨金の拡充

防犯、交通安全、防災、清掃活動など、さまざまな分野で活動する町内会・自治会に対する報奨金を増額します。

予算 1,204万円

■地域コミュニティ拠点整備への支援拡充

町内会館の新築・建て替え、バリアフリー改修などの地域活動の拠点づくりを支援します。

予算 1,050万円

■防災体制の充実強化

室蘭市備蓄整備方針に基づき、みなと小学校の敷地内に防災備蓄倉庫を整備します。

予算 2,145万円

4

将来を展望した都市機能の充実

公共施設の再編整備

■(仮称)環境科学館・図書館

平成32年完成予定の(仮称)環境科学館・図書館の設計を進め、環境科学学習や読書環境の充実を図ります。

予算 3,568万円



図書館

■生涯学習センター(複合公共施設)

平成30年完成予定の生涯学習センターの設計を進め、公共施設の集約化と子どもの読書環境・遊び場の充実を図ります。

予算 1,301万円

■(仮称)総合体育館

(仮称)総合体育館の整備に向け、測量調査や民間活力導入の検討を実施し、市民スポーツの普及振興と防災拠点機能の整備を図ります。

予算 1,303万円

■公設地方卸売市場の整備検討

市場の経営安定化に向けた将来ビジョンの策定と併せて、施設整備の具体化に向けた検討を進めます。

■空き家解消に向けた取り組み推進

有識者などによる「空家等対策協議会」を設置し、空き家対策に関する計画を策定します。

予算 24万円

■空き店舗改修に対する支援拡充

商店街の空き店舗出店助成に関する対象業種を拡充し、まちなかにぎわい創出につなげます。

予算 1,070万円(3月補正予算)

5

ものづくりのまちが挑む北の環境産業都市づくり

水素利用社会構築に向けた取り組み

■水素利用の普及・啓発に向けた取り組み

水素燃料電池自動車（FCV）の更なる導入のほか、移動式水素ステーションとFCVを利用した市民向け普及啓発を実施します。

予算 1,550万円



FCV



移動式水素ステーション

■公共・民間施設への利用促進

入江運動公園温水プールに燃料電池を導入するほか、省エネモデル住宅を購入する市内居住者に対し、エネファーム設置費用の一部を助成します。

予算 2億126万円

■水素関連産業への参入促進

市内のものづくり企業と水素関連先進企業をつなぎ、水素関連市場への参入を促進します。

予算 313万円 (3月補正予算)

ものづくりや建設業の人材確保に向けた取り組み

■ものづくり・建設業人材確保育成事業 (女性向けの職場改善魅力アップ支援事業を含む)

女性が働きやすい職場環境を整備する企業に支援するほか、仕事の魅力を発信するウェブページ作成費用の助成などを行います。

予算 670万円 (3月補正予算)

■職業理解促進事業

子どもたちにまちへの愛着を深めてもらうため、親子で楽しめる工場見学やものづくりの体験教室の実施など、「てついく（鉄育）」を推進します。

予算 66万円 (3月補正予算)

■道立室蘭高等技術専門学院入校生への支援

ものづくり人材の育成を目的に、室蘭高等技術専門学院の教材費などに対する給付制度を創設します。(予算計上は平成29年度から)

企業誘致・雇用創出

■産業振興条例改正関連

産業振興条例を改正し、雇用に対する助成の改正や操業に対する助成の創設など、企業誘致の促進や既存企業の成長力強化に向けた取り組みを推進します。

■中小企業振興条例制定関連

中小企業振興条例を制定し、地元企業や地元製品・商品の活用を促進する施策の検討を進めます。

■中小企業振興資金融資貸付金

融資制度の利用促進を図るため、貸付利率の引き下げを実施し、中小・零細企業の資金需要に対応します。

予算 11億円

ひと・まち・港を活かすグローバルな都市づくり

6

室蘭港の活用促進

■客船の歓迎

客船寄港時に、市民団体などと連携した歓迎対応を実施します。



客船の歓迎

予算 1,002万円

■ポートセールス

客船誘致や、取り扱い貨物の確保・多様化に向けて、国内外でのセールス活動を実施します。

予算 217万円 (国内)
321万円 (海外)

■ガントリークレーンの更新

老朽化したガントリークレーンを更新し、港湾機能の強化を図ります。

予算 3億2,000万円

■北海道新幹線への対応

道外客の誘致強化に向けて、関係団体と連携し、観光プロモーションなどの取り組みを推進します。



北海道新幹線

予算 400万円

■新たな観光案内所の開設

市内の宿泊施設が集中する中島地区の商店街コミュニティ拠点「ふれあいサロンほつとな〜る」に、観光案内所を設置します。

予算 130万円

■姉妹都市等交流事業

アメリカ・ノックスビル市に中学生を派遣するほか、6年ぶりに中国・日照市親善訪問を実施するなど、姉妹都市等との交流を図ります。

予算 653万円



ふれあいサロンほつとな〜る

7 スリムな行政運営

■行政改革の推進

行財政基盤の強化や市有財産のスリム化、行政サービスの向上を推進するため、新たな行政改革プランを策定します。

■マイナンバー制度に対応したICT化の推進

平成29年7月から開始される国との情報連携に対応するため、システム改修などを実施します。

予算 3,170万円

■公共資産のスリム化

公共施設の床面積15パーセント削減に向けた具体的な取り組みを示す、公共建築物再編計画を策定します。

予算 78万円

■職員研修チャレンジ事業

「親子でトレッキングin室蘭岳」「室蘭工業大学生参加型のまちづくり事業」など、職員研修で生まれたアイデアを提案者自らが事業化します。

予算 30万円

■公共施設への新電力導入

施設の維持管理費の圧縮を図るため、電気の安定供給にも配慮しながら、公共施設に新電力を導入します。

■成年後見支援センターの共同運営

成年後見制度の利用支援や周知・啓発事業を、2市3町（室蘭市・登別市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）で共同実施します。

予算 1,616万円

総合戦略の推進

1. まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の場の創出

■効果的な情報発信によるUIJターンの推進

SNSを活用した広告など、希望者への効果的な周知のほか、広域連携によるUIJターンフェアの開催や、首都圏で開催されるUIJターンイベント出展への補助を行います。

予算 1,053万円（3月補正予算）

■クラウドファンディングを活用した地場産品の販路拡大

クラウドファンディングを活用した資金調達手法の啓発・支援により、3市3町（室蘭市・登別市・伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）の連携事業として、地元特産品の販路拡大を推進します。

予算 135万円（3月補正予算）

※クラウドファンディング…インターネットを活用し、不特定多数から資金の出資を募る手法。

2. 子育て世代が希望を持って住み続けられるまちづくり

■子育て・若年世代向け共同住宅整備への支援

子育て・若年世代に配慮した賃貸共同住宅を整備・供給する事業者への助成制度を創設し、賃貸住宅の家賃の低減や供給の促進を図ります。

予算 2,400万円（3月補正予算）

■企業社宅整備等支援事業

企業の従業員向け住宅の整備費に対する助成制度を創設し、市内への定住促進と雇用の確保を図ります。

3. 港や観光資源を活かし、新たな「ひと」と「もの」の流れをつくる

■フェリー航路開設に向けた取り組み

平成30年に予定している室蘭～宮古間のフェリー航路の就航に向け、「宮古市産業まつり」に室蘭市PRブースを出展するほか、異業種交流会の実施、市民交流に関するワークショップの開催など、宮古市との交流を促進します。



予算 471万円（3月補正予算）

■観光拠点づくり事業

観光客の実態調査や先進地の視察を通じた基礎的データの収集など、観光拠点の形成に向けた検討を進めます。

予算 294万円

プラス1. 広域連携等による魅力ある地域づくり

■西いぶり「生涯活躍のまち」構想の推進

西胆振圏域全体への多世代移住促進に向け、官民が連携する構想推進協議会を設置し、西いぶり「生涯活躍のまち」構想の策定などを進めます。

予算 496万円（3月補正予算）

※「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想…元気な高齢者などの移住促進を図り、人口定住のほか医療福祉の雇用確保、まちなか再生など、幅広い分野での地域活性化につなげる構想。

■大学連携推進事業

室蘭工業大学を中心とした道内ものづくり系大学・高等専門学校など、産学官金による若者定着の取り組みに連携し、室蘭工業大学入学生の確保や卒業生の地域定着を促進します。

予算 15万円

平成28年度の予算

一般会計

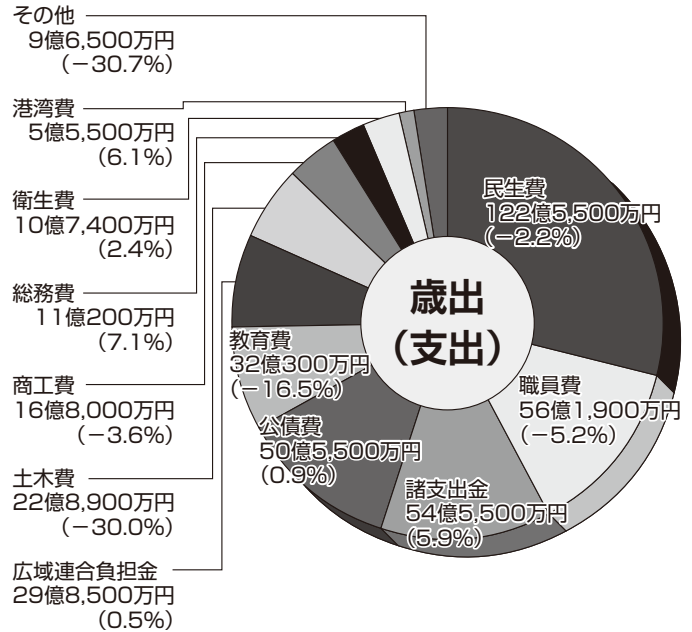
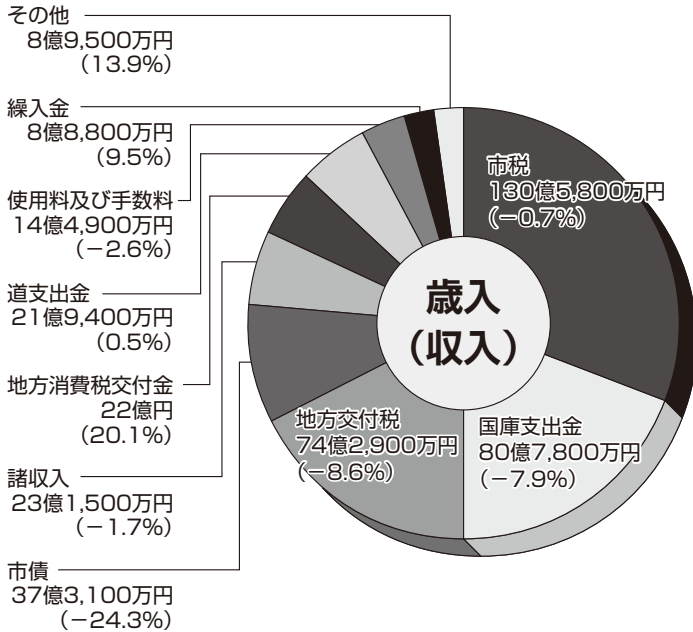
一般会計の予算額は、422億3,700万円で、前年度6月補正後予算と比べ-4.9%、21億9,200万円の減となりました。

歳入では、法人市民税の税率引き下げや市たばこ税の減少などにより市税が減額となり、歳出では、民生費の生活保護費や職員費などが減額となっています。

422億3,700万円

(-4.9%)

※()内は前年度に対する伸率。



用語の説明	内容
市税	市民税、固定資産税、たばこ税などで、市の予算を支える最も重要な収入
国庫支出金	国が市に対して、用途を特定して交付する補助金など
地方交付税	自治体の財政力に応じて国から交付される収入。用途は特定されない
市債	建設事業などのための長期借入金
諸収入	どの収入項目にも属さない収入。預金利子、貸付金元利収入、学校給食費など
道支支出金	道が市に対して、用途を特定して交付する補助金など
その他	自動車取得税交付金などの各種交付金や土地売却収入など

民生費	高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、生活保護などに関する経費
職員費	職員の給料・諸手当など
諸支支出金	特別会計への繰出金や貸付金、企業会計への負担金や補助金など
公債費	建設事業などのために借り入れた長期借入金の元金・利子と一時借入金の利子など
教育費	小・中学校、生涯学習、文化、芸術、スポーツなどに関する経費
広域連合負担金	ごみ処理や電算業務を共同で行っている西いぶり広域連合と北海道後期高齢者医療広域連合への負担金
土木費	道路、河川、街路、公園などの維持管理、整備などに関する経費
商工費	商工業・観光の振興に関する経費
その他	議会費、労働費、農林水産業費、消防費、災害復旧費など

特別会計

国民健康保険	119億7,200万円 (-3.1%)
介護保険	73億 500万円 (1.0%)
後期高齢者医療	14億5,300万円 (-0.9%)

207億3,000万円 (-1.5%)

企業会計

水道事業	28億3,700万円 (3.1%)
工業用水道事業	1,200万円 (-7.7%)
病院事業	122億7,500万円 (0.7%)
公設地方卸売市場事業	2億3,200万円 (-0.9%)
港湾整備事業	8億3,000万円 (147.8%)
下水道事業	45億 800万円 (-8.2%)

206億9,400万円 (1.3%)

平成28年度の市政方針の全文は、市ホームページに掲載しています。なお、2~6ページに掲載している予算は、第1回市議会定例会に提案された内容です。

市政方針

《詳細》企画課 ☎25-2181
 http://www.city.muroran.lg.jp/main/org2200/shiseihoushin.html

予算の概要

《詳細》財政課 ☎25-2268
 http://www.city.muroran.lg.jp/main/org2300/yosan.html